

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	Aile		公表日 令和8年 3 月 30 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4名	0名	限られた環境で、十分な訓練スペースが確保できている。	庭や個室も活用しながら、子どもたちのスペースがより広くなるよう日々改善に努めていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4名	0名	その日の児童数に対して適切な人員確保ができています。	今後も運営基準を満たし、研修受講や資格取得などを行い支援の質の向上を図っていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4名	0名	スロープや手すりの設置など、配慮できている。	2階があるため、目が届かない状況がないようスタッフ同士の連携を高めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4名	0名	業務終わりには掃除と消毒を行い、清潔で快適な空間となる様心掛けております。	引き続き、児童の活動空間の確保と清潔保持に努めていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4名	0名	プログラム内容や児童の状況に合わせて部屋分けなどを行い活動している。	今後も児童優先の環境を提供していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4名	0名	日々の振り返りからのPDCAサイクルを回しながら、支援プログラムの向上を図っています。	今後も日々のPDCAサイクルを行いながら、支援の質の向上を図っていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4名	0名	保護者様から頂いたご意見をもとに、今後の運営に反映しております。	アンケート結果を受けて、今後もスタッフと保護者の認識のズレを把握し、解消に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4名	0名	ミーティングに反映させ、業務改善に努めている。	本アンケート等を通して、職員の意見を把握し、働きやすい職場となる様、業務改善を進めていきたいと考えております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2名	2名	研修等を通して、外部からの事業所の見え方などアドバイスをいただいている。	第三者による外部評価は行っていませんので、今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4名	0名	スタッフのキャリアアップに努めている。	施設内の研修が少ないが、外部研修に参加している。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4名	0名	事業所のホームページにて支援プログラムの公表を行っている。	定期的に支援プログラムの見直しを行い、より良い支援に繋げていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4名	0名	職員全体で会議を持ち、情報共有を図っている。	必要に応じてモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4名	0名	原案を作成し、職員で会議を行い利用者主体の検討を行っている。	今後も職員の理解が深まるよう、意見を言いやすい環境を提供し、より良い支援に繋げていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4名	0名	日々の個別支援計画実施記録の中に個別支援計画を記載し、計画に沿った支援を行うことができるよう工夫している。	今後も、しっかりと職員間で共有していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4名	0名	5領域が含まれたツールを用いて、児童発達支援管理責任者が作成している。	他事業所の活動や訓練なども参考にしながら、質の向上を図っていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4名	0名	5領域を含め、ガイドラインに沿った個々の課題を設定し、具体的な支援内容を明記している。	今後も、日々改善を行い質の向上を図っていく。また、他事業所の情報も聞き入れながら広い視野を持って作成していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4名	0名	職員間で話し合い、プログラムを作成している。	今後もチームとして支援していけるよう継続して行っていく。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4名	0名	児童が飽きずに参加できる活動プログラムを検討している。	他事業所の活動や訓練なども参考にしながら、質の向上を図っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4名	0名	それぞれの児童の特性に合わせて、集団で行えることが限られている児童には個別の活動もできるようにしている。	その日の身体と心の状態を把握した上で支援できるよう引き続きサポートしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4名	0名	日々、こまめな打ち合わせを行って支援に取り掛かっている。	今後も支援に繋がる良い時間となる会議を意識していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4名	0名	翌日の振り返りになってしまうこともあるが、基本的には送迎終了後に当日の出来事などの振り返りを行っている。	もっと時間を確保できるよう、検討していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4名	0名	日々記録をとり、職員間で共有している。	今後も、支援計画に基づいた記録を行い、PDCAサイクルを行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4名	0名	半年内に一度はモニタリングを行っている。	必要に応じて、不定期での見直しも行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4名	0名	年齢に合わせて職場体験の機会や外出の機会、余暇活動の充実、制作活動などを行っている。	今後も年齢に合わせた活動を取り入れていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4名	0名	事業所の活動プログラムを取り入れつつ、児童のやりたいことなども活動に反映している。	今後も、自立に向けて自己決定力を高めることができるよう取り組んでいく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4名	0名	主に児童発達管理責任者が参加しているが状況がある。	現場の状況を見ながら該当会議にふさわしいスタッフの参加を促していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4名	0名	少数ではあるが、児童がご利用されている病院の主治医の先生との会議等に参加している。	担当者会議等に教育現場と連携する機会はあるが、今後は地域の医療との繋がりを持てるよう模索していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4名	0名	送迎時のコミュニケーションや、学校のメールなどを登録し情報をキャッチしている。	普通学級と支援学級での相違があるため、よりこまめな情報共有を目指していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3名	1名	基本的な情報共有はできているが、相互理解を深めるための会議等が不足している可能性がある。	児童のために幅広い関係機関や地域資源を活用して情報共有と相互理解に努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3名	1名	放デイ卒業時には、進路先の担当者との会議開催をしている。	今後も、児童が安心して社会に踏み出せるようサービス提供終了後であっても必要に応じて情報提供を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3名	1名	現時点で利用しているメンバーの関係で、児童発達支援センターとの連携の場面无い。	今後は地域の児童発達支援センターとの連携を図り、研修以外で学ぶ機会を作ることができるよう努めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2名	2名	イベントや児童館や公園などでの交流があるが、施設への交流はない。	インフルエンザやコロナなどの影響でなかなか受け入れが難しい状況があったので、引き続き交流する機会を作れるよう検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3名	1名	現時点では自立支援協議会の下部組織にあたる連絡会に参加している。	今後は連絡会を通して自立支援協議会にも触れる機会を増やしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4名	0名	日ごろの送迎時に保護者様とのやりとりを行ったり契約、面談でもお話をさせていただいている。	今後も引き続き、細かい情報共有を行っていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3名	1名	必要に応じて個別でのサポートを行っている。	今後は保護者交流会などを開催し、ペアレントトレーニングを行っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4名	0名	契約時に丁寧な説明を心がけている。	今後も丁寧な説明を行い、保護者の安心に繋げていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4名	0名	見学、体験、契約時における面談などで意向について確認し、サービス等利用計画を基に作成している。	今後もこどもや家族の意向を確認しながら、安心に繋げていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4名	0名	計画書の内容を説明しながら同意を得ている。	今後も丁寧な説明を行い、保護者の安心に繋げていく。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4名	0名	相談に対して適切に対応している。	助言しすぎて保護者様が困ってしまわないよう配慮していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1名	3名	保護者様とは、個々には交流を深める対応を行っているが、保護者会などはまだ開催できていない。	近日開催予定です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4名	0名	保護者様からの苦情やご連絡は、各職員へ共有し、迅速かつ適切にご対応するよう心掛けている。	運営基準（定員）を守りながら、臨機応変に対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4名	0名	毎月だよりを発行し、活動の様子をInstagramやLINEを用いて発信している。	今後も、保護者が見やすく、わかりやすいお便りの作成とSNS発信を心がけていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4名	0名	鍵付きの書庫を使用している。	今後も引き続き漏洩のないように注意していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4名	0名	ホワイトボードやタブレットなどを使いながら工夫している。	今後も、スムーズな意思疎通ができるよう配慮していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3名	1名	清掃活動などを通して地域との交流を持つことができています。	イベントの企画ができていないため、今後は地域の皆さんが参加できる行事の開催を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4名	0名	各マニュアルを作成し、実施しているが保護者に周知が行きわたってない可能性がある。	マニュアルを定期的に見直ししていく。また、保護者にも周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4名	0名	BCPの策定を行い、研修とともに訓練も実施しております。	今後も引き続き、万が一に備えて訓練を行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4名	0名	契約時に児童の基本情報を確認している。	てんかん発作時の対応など、定期的に再確認していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4名	0名	契約時に児童の基本情報を確認している。	定期的アレルギーの有無を確認していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4名	0名	マニュアルを作成し、定期的に訓練を実施している。	定期的マニュアルを見直し、より安全に配慮した上で支援していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3名	1名	安全計画を作成し、周知している。	今後はもっと家族等に周知しながら、定期的に見直しを行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4名	0名	ヒヤリハット用の報告をファイルにまとめ、ヒヤリハットが発生した場合は、各職員へ情報展開を実施し、会議等で共有します。	現時点でヒヤリハットはないので、今後も未然に防げるよう対応していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4名	0名	定期的に虐待防止研修を受講して事業所内で共有している。	引き続き、細かい情報共有を行っていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4名	0名	現時点で身体拘束の対象者（想定される児童）がいないが、契約時に万が一に備えて身体拘束の同意書を準備している。	身体拘束が想定される児童の受け入れの際には、しっかりと準備し計画書に記載していく。	